

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

平成 24 年度 研究報告会

(第 24 回)

プログラム・抄録集

平成 25 年 3 月 11 日(月)

国立精神・神経医療研究センター

研究所 3 号館 セミナー室

平成23年度精神保健研究所報告会 受賞者名

青申賞

- 太田英伸（知的障害研究部）  
「新生児集中治療室における光環境デザイン」
- 肥田昌子（精神生理研究部）  
「生体組織を利用したヒト生物時計機能評価—概日リズム睡眠障害患者への応用—」

寒露賞

- 岩井孝志（精神薬理研究部）  
「抗うつ薬関連遺伝子Rhotekinは神経分化を促進する」
- 元村祐貴（精神生理研究部）  
「短時間睡眠による睡眠負債が情動に関する脳機能に及ぼす影響」

平成 24 年度 国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 研究報告会

会期：平成 25 年 3 月 11 日(月)

会場：国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナー室

日程：

	9：00～	9：10	開会の辞	ご挨拶
【セッションⅠ】	9：10～	9：40	演題 1	災害時こころの情報支援センター
	9：40～	10：10	演題 2	自殺予防総合対策センター
	10：10～	10：40	演題 3	知的障害研究部
*休憩*	10：40～	10：55		
【セッションⅡ】	10：55～	11：25	演題 4	心身医学研究部
	11：25～	11：55	演題 5	司法精神医学研究部
	11：55～	12：25	演題 6	社会復帰研究部
	12：25～	12：40	写真撮影・連絡	
	12：40～	13：40	昼食	
【セッションⅢ】	13：40～	14：10	演題 7	成人精神保健研究部
	14：10～	14：40	演題 8	薬物依存研究部
	14：40～	15：10	演題 9	精神保健計画研究部
	15：10～	15：40	演題 10	社会精神保健研究部
*休憩*	15：40～	15：55		
【セッションⅣ】	15：55～	16：25	演題 11	精神薬理研究部
	16：25～	16：55	演題 12	児童・思春期精神保健研究部
	16：55～	17：25	演題 13	精神生理研究部
	17：25～	17：35	閉会の辞	

〈 後片付け・評価検討 〉

19：00～ 20：00 懇親会・表彰式（コスモホール）  
（18：30開場）

平成 24 年度 精神保健研究所リサーチ委員会  
伊藤順一郎 稲垣正俊 菊池安希子 菊地裕絵 栗山健一 軍司敦子

## お知らせとお願い

### <発表者の皆様へ>

#### 1. 発表時間

各部の発表時間は、常勤・任期付研究者1名による発表9分および質疑応答2分、非常勤研究者2名によるそれぞれ発表7分および質疑応答2分の計29分間です。円滑な進行のため時間厳守でお願いいたします。

#### 2. 発表形式および発表用ファイルの仕様

発表にはリサーチ委員会で用意する Windows マシン (Powerpoint 2007 対応) を使用いたします。発表者の持参機、Macintosh マシンとの切り替え作業は行いません。 Windows 版 Powerpoint での発表用ファイル作成をお願いいたします。なお、Powerpoint 2010 以降で作成される場合には Powerpoint 2007 との互換性が保証される形式で保存してください。

発表用ファイルは各部 1 ファイルにまとめ、ファイル名は「01 災害時こころの情報支援センター.pptx(もしくは.ppt)」のように、演題番号(前頁参照)および研究部名としてください。

#### 3. 発表用ファイルの提出

発表用ファイルは、3月8日(金) 13時までに [kenichik@ncnp.go.jp](mailto:kenichik@ncnp.go.jp) (成人精神保健研究部・栗山健一)宛に電子メールの添付ファイルにて部長からご提出ください。サイズが大きい場合はCD等に入れてご提出ください。リサーチ委員会による動作確認が必要ですので厳守をお願いいたします。

### <座長・タイムキーパーのお願い>

1. 座長は各部長先生をお願いいたします。スケジュールが非常にタイトですので、上記発表時間厳守での運営をお願いいたします。
2. タイムキーパー、照明は、セッションごとにリサーチ委員の所属する部からのご協力をお願いいたします。

次の座長、発表者は最前列にご着席になり、お待ちください。

### <写真撮影に関するお願い>

午前中の発表が終了した段階(12:25~)で、会場で記念写真撮影を行います。若手研究者の皆さんは、テーブルや椅子、機材等の移動等の手伝いをお願いいたします。

平成 24 年度 精神保健研究所 研究報告会  
プログラム

9 : 00-9 : 10 開会の辞 精神保健研究所 所長 加我 牧子  
ご挨拶 企画戦略室長 野田 広

<< 発表 >>

9 : 10- 9 : 40 災害時こころの情報支援センター

座長 金 吉晴

1 : 東日本大震災こころのケアチームの全国の活動実績に基づいた災害時こころの情報支援センターの活動

○渡 路子、小見めぐみ、荒川亮介、金 吉晴  
災害時こころの情報支援センター

2 : 東日本大震災と新潟県中越地震におけるこころのケアチームリーダーの活動の比較

○小見めぐみ、渡 路子、荒川亮介、金 吉晴  
災害時こころの情報支援センター

3 : 緊急時における心理的応急処置（サイコロジカル・ファーストエイド：PFA）に関する指導者育成システムの検証

○大滝涼子、大沼麻実、金 吉晴  
災害時こころの情報支援センター

9 : 40-10 : 10 自殺予防総合対策センター

座長 竹島 正

1 : 初回自殺企図により自殺既遂に至った男性の心理社会的特徴：心理的剖検の手法による検討

○松本俊彦<sup>1)</sup>、勝又陽太郎<sup>1)</sup>、赤澤正人<sup>2)</sup>、小高真美<sup>1)</sup>、  
亀山晶子<sup>1,3)</sup>、白川教人<sup>4)</sup>、江口のぞみ<sup>5)</sup>、川上憲人<sup>5)</sup>、竹島 正<sup>1,2)</sup>

1) 自殺予防総合対策センター

2) 精神保健計画研究部

3) 日本大学文理学部人文科学研究所

4) 横浜市こころの健康相談センター

5) 東京大学大学院精神保健学分野

2 : 自殺に対する態度と関連要因 —薬剤師と社会福祉士の比較から—

○小高真美<sup>1)</sup>、稲垣正俊<sup>1,2)</sup>、山田光彦<sup>2)</sup>、竹島正<sup>1,3)</sup>

1) 自殺予防総合対策センター

2) 精神薬理研究部

3) 精神保健計画研究部

- 3 : 東日本大震災後の岩手県大槌町住民における QOL  
○白神敬介<sup>1)</sup>、川野健治<sup>1)</sup>、立森久照<sup>2)</sup>、竹島 正<sup>1,2)</sup>  
1) 自殺予防総合対策センター  
2) 精神保健計画研究部

10 : 10-10 : 40 知的障害研究部

座長 稲垣真澄

- 1 : 非侵襲的脳機能計測による声特異反応の検出  
○軍司敦子<sup>1)</sup>、小林朋佳<sup>1)</sup>、竹市博臣<sup>1,2)</sup>、鈴木浩太<sup>1)</sup>、  
山本寿子<sup>1,3)</sup>、安村 明<sup>1)</sup>、中川栄二<sup>4)</sup>、稲垣真澄<sup>1)</sup>  
1) 知的障害研究部  
2) 理化学研究所仁科加速器研究センター  
3) 聖マリアンナ医科大学  
4) 国立精神・神経医療研究センター病院
- 2 : 注意欠陥／多動性障害における干渉抑制に関わる神経基盤の解明  
○安村 明<sup>1,3)</sup>、小久保奈緒美<sup>1)</sup>、山本寿子<sup>1)</sup>、中川栄二<sup>2)</sup>、  
加我牧子<sup>1)</sup>、開 一夫<sup>3)</sup>、稲垣真澄<sup>1)</sup>  
1) 知的障害研究部  
2) 国立精神・神経医療研究センター病院  
3) 東京大学大学院総合文化研究科
- 3 : 母親の養育行動が学童期における子どもの行動特性に及ぼす影響  
○鈴木浩太<sup>1)</sup>、北 洋輔<sup>1,2)</sup>、加我牧子<sup>1)</sup>、三砂ちづる<sup>3)</sup>、竹原健二<sup>4)</sup>、  
稲垣真澄<sup>1)</sup>  
1) 知的障害研究部  
2) 日本学術振興会特別研究員  
3) 津田塾大学 学芸学部 国際関係学科  
4) 独立行政法人 国立成育医療研究センター研究所 成育政策科学研究部

10 : 55-11 : 25 心身医学研究部

座長 安藤哲也

- 1 : Ecological momentary assessment 用ストレス評価尺度の開発  
○菊地裕絵<sup>1)</sup>、富田吉敏<sup>2)</sup>、吉内一浩<sup>3)</sup>、安藤哲也<sup>1)</sup>  
1) 心身医学研究部  
2) 病院心療内科  
3) 東京大学大学院医学系研究科ストレス防御心身医学

- 2 : 神経性食欲不振症のケア提供者におけるケア負担感と精神的健康  
—その実態と関連要因の検討—  
○小原千郷、小牧 元、安藤哲也  
心身医学研究部

- 3 : 過敏性腸症候群に対する認知行動療法の開発研究  
○大江悠樹<sup>1)</sup>、倉 五月<sup>1)</sup>、大和 滋<sup>2)</sup>、堀越 勝<sup>3)</sup>、  
福土 審<sup>4)</sup>、菊地裕絵<sup>1)</sup>、富田吉敏<sup>5)</sup>、安藤哲也<sup>1)</sup>  
1) 心身医学研究部  
2) センター病院消化器科  
3) 認知行動療法センター  
4) 東北大学大学院医学系研究科行動医学  
5) センター病院心療内科

11 : 25-11 : 55 司法精神医学研究部

座長 岡田幸之

- 1 : 医療観察法 通院処遇対象者における問題行動のリスクファクター分析  
○安藤久美子、中澤佳奈子、津村秀樹、浅野敬子、岡田幸之  
司法精神医学研究部
- 2 : 心神喪失者等医療観察法による入院処遇対象者の処遇期間  
～地域マクロ指標との関連に着目して～  
○長沼洋一、菊池安希子、長沼葉月、安藤久美子、  
中澤佳奈子、津村秀樹、岡田幸之  
司法精神医学研究部
- 3 : 聴覚刺激を用いた指タッピング課題に関する探索的検討  
○津村秀樹、山田華世、中澤佳奈子、安藤久美子、野田隆政、岡田幸之  
司法精神医学研究部

11 : 55-12 : 25 社会復帰研究部

座長 伊藤順一郎

- 1 : Assertive Community Treatment における診療報酬の観点から見た医療経済実態調査研究  
○吉田光爾<sup>1)</sup>、前田恵子<sup>1)</sup>、泉田信行<sup>2)</sup>、伊藤順一郎<sup>1)</sup>  
1) 社会復帰研究部  
2) 社会保障・人口問題研究所
- 2 : 日本における IPS (Individual Placement and Support) 型の就労支援 : 質問紙によ

る実施機関調査結果の報告

○下平美智代<sup>1)</sup>、片山（高原）優美子<sup>2)</sup>、山口創生<sup>1)</sup>、  
小川友季<sup>3)</sup>、伊藤順一郎<sup>1)</sup>

- 1) 社会復帰研究部
- 2) 長野大学
- 3) 国立国際医療研究センター国府台病院

3：根拠に基づく実践の経験と精神障害者およびリカバリーに対する態度との関係：  
クロス・セクショナル研究

○山口創生<sup>1)</sup>、贅川信幸<sup>2)</sup>、前田恵子<sup>1)</sup>、種田綾乃<sup>1)</sup>、  
千葉理恵<sup>3)</sup>、梅田麻希<sup>4)</sup>、伊藤順一郎<sup>1)</sup>

- 1) 社会復帰研究部
- 2) 日本社会事業大学
- 3) 自治医科大学
- 4) 東京大学

13：40-14：10 成人精神保健研究部

座長 金 吉晴

1：東日本大震災後の宮城県職員の精神健康とストレス要因

○鈴木友理子<sup>1)</sup>、深澤舞子<sup>1)</sup>、小原聡子<sup>2)</sup>、金 吉晴<sup>1)</sup>

- 1) 成人精神保健研究部
- 2) 宮城県精神保健福祉センター

2：Delphi 法を用いた災害支援者のストレス対応 ガイドラインの作成

○成澤知美<sup>1,2)</sup>、鈴木友理子<sup>1)</sup>、深澤舞子<sup>1)</sup>、中島聡美<sup>1)</sup>、金 吉晴<sup>1)</sup>

- 1) 成人精神保健研究部
- 2) 大阪大学大学院人間科学研究科

3：高照度光照射による恐怖条件付け消去学習促進効果の検討

○吉池卓也、栗山健一、本間元康、小山さより、木村美貴子、金 吉晴  
成人精神保健研究部

14：10-14：40 薬物依存研究部

座長 和田 清

1：脱法ハーブ流通規制対策に関する研究：合成カンナビノイドの簡易検出法の確立

○船田正彦、富山健一、和田 清

薬物依存研究部

2：クラブイベント来場者における MDMA をはじめとするクラブドラッグの使用パターンについて

○嶋根卓也<sup>1)</sup>、日高庸晴<sup>2)</sup>、和田 清<sup>1)</sup>、船田正彦<sup>1)</sup>

- 1) 薬物依存研究部
- 2) 宝塚大学看護学部

- 3 : カチノン誘導体 MDPV の薬物依存性および細胞毒性の評価  
○富山健一、和田 清、船田正彦  
薬物依存研究部

14 : 40-15 : 10 精神保健計画研究部

座長 竹島 正

- 1 : 震災救援者における PTSD 症状の予測因子に関する検討  
○西 大輔<sup>1,2,3)</sup>、中谷直樹<sup>3,4,5)</sup>、曾根稔雅<sup>3,6)</sup>、野口普子<sup>3,7)</sup>、  
浜崎 景<sup>3,8)</sup>、浜崎智仁<sup>3,8)</sup>、小井土雄一<sup>2)</sup>、松岡 豊<sup>2,3,7)</sup>
- 1) 精神保健計画研究部
  - 2) 災害医療センター
  - 3) JST/CREST
  - 4) 東北大学
  - 5) 鎌倉女子大学
  - 6) 東北福祉大学
  - 7) TMC
  - 8) 富山大学
- 2 : 保健所における精神保健福祉業務運営要領の運用実態に関する調査  
○赤澤正人<sup>1)</sup>、竹島 正<sup>1)</sup>、立森久照<sup>1)</sup>、宇田英典<sup>2)</sup>、金田一正史<sup>3)</sup>、  
澁谷いづみ<sup>4)</sup>、野口正行<sup>5)</sup>、藤田健三<sup>5)</sup>、吉川武彦<sup>6)</sup>
- 1) 精神保健計画研究部
  - 2) 鹿児島県鹿児島地域振興局保健福祉環境部兼伊集院保健所
  - 3) 千葉県健康福祉部障害福祉課
  - 4) 愛知県半田保健所
  - 5) 岡山県精神保健福祉センター
  - 6) 清泉女学院大学・清泉女学院短期大学部
- 3 : 都道府県等におけるてんかん診療の実態と問題点  
○河野 稔明、竹島 正  
精神保健計画研究部

15 : 10-15 : 40 社会精神保健研究部

座長 伊藤弘人

- 1 : 医療計画策定に関わる都道府県担当者がみた課題と取り組み  
○堀口寿広、奥村泰之、伊藤弘人  
社会精神保健研究部

2 : クエチアピンとリスペリドンの薬剤誘発性 QT 延長 : メタ解析

○池野 敬<sup>1)</sup>、奥村泰之<sup>1)</sup>、久木山清貴<sup>2)</sup>、伊藤弘人<sup>1)</sup>

- 1) 社会精神保健研究部
- 2) 山梨大学医学部 循環器・呼吸器内科

3 : 精神科入院患者へのベンゾジアゼピン系の頓服薬使用に関する看護師の認識調査

○佐藤真希子<sup>1)</sup>、末安民生<sup>2)</sup>、坂田 睦<sup>3)</sup>、藤田純一<sup>4)</sup>、野田寿恵<sup>1,5)</sup>、伊藤弘人<sup>1)</sup>

- 1) 社会精神保健研究部
- 2) 天理医療大学 医療学部 看護学科
- 3) 医療法人井上会 篠栗病院
- 4) 神奈川県立こども医療センター
- 5) 公益財団法人復康会 沼津中央病院

15 : 55-16 : 25 精神薬理研究部

座長 山田光彦

1 : リルゾールはベンゾジアゼピン系抗不安薬の副作用を示すことなくラットにおいて強い抗不安様作用を示す

○斎藤顕宜<sup>1)</sup>、杉山 梓<sup>1,2)</sup>、稲垣正俊<sup>1,3)</sup>、山田美佐<sup>1)</sup>、橋本富男<sup>1)</sup>、  
牧野祐哉<sup>1,2)</sup>、大橋正誠<sup>1,2)</sup>、塚越麻衣<sup>1,2)</sup>、岡淳一郎<sup>2)</sup>、山田光彦<sup>1)</sup>

- 1) 精神薬理研究部
- 2) 東京理科大学薬学部 薬理学教室
- 3) 自殺予防総合対策センター

2 : 内側前頭前野におけるグルタミン酸神経伝達はマウスの情動調節に重要である

○大橋正誠<sup>1,2)</sup>、斎藤顕宜<sup>1)</sup>、稲垣正俊<sup>1,3)</sup>、山田美佐<sup>1)</sup>、杉山 梓<sup>1,2)</sup>、橋本富男<sup>1)</sup>、  
牧野祐哉<sup>1,2)</sup>、塚越麻衣<sup>1,2)</sup>、岡淳一郎<sup>2)</sup>、山田光彦<sup>1)</sup>

- 1) 精神薬理研究部
- 2) 東京理科大学薬学部 薬理学教室
- 3) 自殺予防総合対策センター

3 : 抗うつ薬関連遺伝子 Prg1 は神経細胞の生存維持に重要な因子である

○橋本富男<sup>1)</sup>、山田美佐<sup>1)</sup>、岩井孝志<sup>1,2)</sup>、斎藤顕宜<sup>1)</sup>、  
橋本恵理<sup>3)</sup>、鶴飼 渉<sup>3)</sup>、齋藤利和<sup>3)</sup>、山田光彦<sup>1)</sup>

- 1) 精神薬理研究部
- 2) 北里大学薬学部 生命薬化学研究室
- 3) 札幌医科大学医学部 神経精神医学講座

16 : 25-16 : 55 児童・思春期精神保健研究部

座長 神尾陽子

- 1 : 日本人の自閉症スペクトラム児における聴覚性驚愕反射とその制御機構に関する研究  
 ○高橋秀俊、中鉢貴行、森脇愛子、飯田悠佳子、遠藤明代、  
 荻野和雄、武井麗子、稲田尚子、神尾陽子  
 児童・思春期精神保健研究部
- 2 : 一般児童・生徒における自閉症的行動特徴と不器用との関連性  
 ○飯田悠佳子<sup>1)</sup>、中井昭夫<sup>2)</sup>、森脇愛子<sup>3)</sup>、神尾陽子<sup>1)</sup>  
 1) 児童・思春期精神保健研究部  
 2) 福井大学 子どものこころの発達研究センター  
 3) 災害時こころの情報支援センター
- 3 : 5歳の一般児童集団における自閉症的行動特性と合併精神症状の関連  
 ○遠藤明代<sup>1)</sup>、森脇愛子<sup>2)</sup>、神尾陽子<sup>1)</sup>  
 1) 児童・思春期精神保健研究部  
 2) 災害時こころの情報支援センター

16 : 55-17 : 25 精神生理研究部

座長 三島和夫

- 1 : リアルタイム fMRI を用いたストレス関連疾患の治療法の開発  
 ○守口善也<sup>1,2)</sup>、大場健太郎<sup>1)</sup>、村上裕樹<sup>1,2)</sup>、勝沼るり<sup>1)</sup>、寺澤悠理<sup>1)</sup>、  
 元村祐貴<sup>1)</sup>、金山裕介<sup>1)</sup>、肥田昌子<sup>1)</sup>、松田博史<sup>1,2)</sup>、三島和夫<sup>1,2)</sup>  
 1) 精神生理研究部  
 2) 脳病態統合イメージングセンター
- 2 : 東日本大震災が睡眠、QOL およびメンタルヘルスに及ぼした影響  
 ○野崎健太郎<sup>1,2)</sup>、片寄泰子<sup>1)</sup>、北村真吾<sup>1)</sup>、肥田昌子<sup>1)</sup>、  
 守口善也<sup>1)</sup>、三島和夫<sup>1)</sup>  
 1) 精神生理研究部  
 2) 災害時こころの情報支援センター
- 3 : 新しい活動量計における睡眠/覚醒判定アルゴリズムの検討  
 ○中崎恭子<sup>1)</sup>、北村真吾<sup>1)</sup>、野崎健太郎<sup>1,2)</sup>、片寄泰子<sup>1)</sup>、元村祐貴<sup>1)</sup>、  
 塚田恵鯉子<sup>1,3)</sup>、守口善也<sup>1)</sup>、肥田昌子<sup>1)</sup>、亀井雄一<sup>1,3)</sup>、三島和夫<sup>1)</sup>  
 1) 精神生理研究部  
 2) 災害時こころの情報支援センター  
 3) 国立精神・神経医療研究センター病院

17 : 25-17 : 35 閉会の辞

精神保健研究所 所長 加我 牧子

19 : 00-20 : 00 懇親会・表彰式 (コスモホール)